

学部 / 看護専門領域 / 看護の発展 科目コード：120517 国際看護論 International Nursing					
担当教員	山岸 映子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	グローバルヘルス、国際機関、国際看護活動、ミレニアム開発目標、多文化共生社会、国際協力、ポストミレニアム				
学習目的・目標	【目的】 国際的な視野から健康課題や看護問題を考えることができ、国際社会で活躍できる能力を養う。 【目標】 グローバルヘルスの現状と課題、国際機関の役割や国際保健政策、国際看護活動について理解し、看護の国際協力の実際や日本における多文化共生と看護の役割について考える。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	国際看護とは グローバルヘルスの現状と課題				
2-3	国際保健医療の課題とミレニアム開発目標（MDGs） ・極度の貧困と飢餓の撲滅 ・普遍的な初等教育の達成 ・ジェンダー平等の推進と女性の地位向上 ・乳幼児死亡率の削減 ・妊産婦の健康状態の改善 ・HIV/エイズ、マラリア、結核、その他疾病の蔓延防止 ・環境の持続可能性を確保 ・開発のためのグローバルなパートナーシップの推進 ポスト2015年開発アジェンダ				
4	国際機関の役割 ・世界保健機関（WHO）・国連児童基金（UNICEF）・国連人口基金（UNFPA）・国連エイズ合同計画（UNAIDS） ・国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）・国連開発計画（UNDP）				
5	国際看護活動の実際① ・国際看護師協会（ICN）・国際助産師連盟（ICM）・国際協力機構（JICA）－専門家、青年海外協力隊（JOCV） ・非政府団体（NGO）・緊急援助活動について				
6	国際看護活動の実際②－異文化理解とコミュニケーション ・JICA技術協力－看護大学における国際協力				
7	国際看護活動の展開手法 ・プライマリ・ヘルスケア（PHC） ・プロジェクトサイクルマネジメント（PCM） 日本における多文化共生社会と看護の役割				
教科書	田村やよい他：新体系看護学全書 看護の統合と実践3 国際看護学（メヂカルフレンド社）				
参考図書等	P.F.Basch(1999):Textbook of International Health ,Oxford Univ.Press,Oxford. A.A.Burns,etc.(1997): Where Women Have No Doctor-A Health Guide for Women-, Macmilan.Oxford. JICA国際協力機構年次報告書 2014（独立行政法人国際協力機構 2014） 世界子ども白書（UNICEF）、世界人口白書（UNFP）その他随時提示する				
評価指標	課題レポート20％、試験80％				
関連科目	国際看護演習、看護学概論、医療経済学、医療人類学、英語Ⅲ				
教員から学生へのメッセージ	国際協力に関心がある学生、将来国際社会で活躍したいと考えている学生の参加を期待しています！				